

## 横須賀市平作川で採集された ダイミョウサギ (スズキ目：クロサギ科)

萩原清司\*・齋藤和久\*\*・木村喜芳\*\*・  
横須賀市自然環境共生課\*\*\*

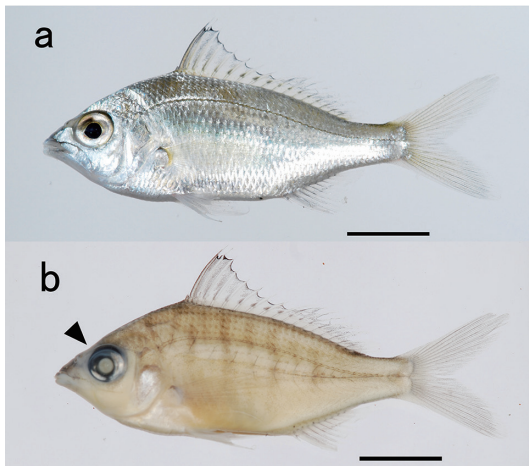
*Gerres japonicus* (Scorpaeniformes:  
Gerreidae) collected from the Hirasaku  
River, Yokosuka, Japan

HAGIWARA Kiyoshi \*, SAITOU Kazuhisa \*\*,  
KIMURA Kiyoshi \*\*,  
and Yokosuka Natural Environment Division\*\*\*

キーワード：クロサギ属，淡水魚，神奈川県，汽水域，  
分布

Key words: *Gerres*, freshwaterfish, Kanagawa,  
brackish water, distribution

ダイミョウサギ *Gerres japonicus* Bleeker, 1854  
は、長崎県産の個体を模式標本とする、スズキ目ク  
ロサギ科クロサギ属の魚類である (Bleeker, 1854; 波



第1図 ダイミョウサギ *Gerres japonicus* Bleeker, 1854.  
a, YCM-P46069 生鮮時; b, YCM-P46069 保存  
標本。図中スケールは 10 mm。▼印は両眼間の  
凹みの位置を示す。

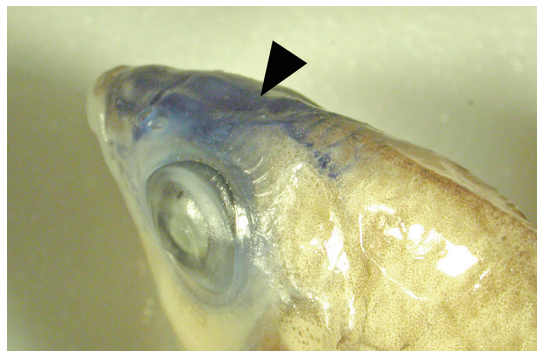
戸岡, 2013)。本種は千葉県～三重県の太平洋沿岸瀬  
戸内海西部，山陰地方，九州北西岸および韓国，上  
海～香港の中国沿岸に分布する海産魚類である (波  
戸岡, 2013)。クロサギ科魚類は汽水域を含む内湾の  
砂泥底海域に生息するが (下瀬, 2018)，本種はこれ  
まで三浦半島の河川汽水及び淡水域からの記録はな  
い。

この度，神奈川県横須賀市の平作川から三浦半島  
の河川から初記録となる標本1個体が得られたので，  
採集個体のデータと採集状況について報告する。本  
報告の計測値は 10%ホルマリン水溶液で約 1 週間固  
定の後，70%エタノール水溶液で保存した資料 (横  
須賀市博物館魚類資料: YCM-P) による。

供試標本 YCM-P46069 (第1図)，1個体，  
41.9 mm SL，採集日 20160930，横須賀市平作川真崎  
橋下流 (北緯 35° 15' 3", 東経 139° 40' 30")，投網，  
萩原清司採集。

記載 体高は高く，体はよく側扁する。口は前  
下方に突出できる。両眼間にU字型の凹みがある (第  
1図 b，第2図)。鱗は大きくはがれやすい。胸鰭は  
長く，先端は肛門直上を超える。

以下に形質計数・計測値を示す。背鰭 10 棘 9 軟条；  
臀鰭 3 棘 7 軟条；胸鰭 14 軟条；側線有孔鱗数 42。  
以下，体長に対する比率 (%)：全長 130.8；頭長  
31.4；体高 37.3；背鰭前長 40.6；臀鰭前長 68.2；胸  
鰭長 39.8；背鰭基底長 50.4；臀鰭基底長 19.5；尾柄  
高 10.2。以下，頭長に対する比率 (%)，吻長 32.4；



第2図 供試標本 YCM-P46069 のサイアニン染色で観察  
された両眼間の U 字型凹み (▼印)。

\* 横須賀市自然・人文博物館 〒238-0016 神奈川県横須賀市深田台95

\*\* 相模湾海洋生物研究会

\*\*\* 横須賀市環境政策部

原稿受付2018年10月1日。横須賀市博物館業績741号。

眼径 35.0。

生鮮時の体色は、一様に銀白色。背鰭第2～4棘条間の先端は黒い（第1図 a）。10%ホルマリン固定後の標本では、体側に10本の不明瞭な暗色横帯があらわれ、吻部と背部には褐色の色素が密に分布する。側線より下方の体側および腹部は乳白色（第1図 b）。

**備考** 供試標本の採集地点は、横須賀市公郷と森崎の間の平作川に架かる真崎橋と、横須賀市上町浄化センターの排水口との中間点付近で、潮汐によって若干の水面変動の影響は受けるものの干潮時にはほぼ淡水域となる地点であった。供試個体は干潮時に粘土質の河床部で投網によって採集され、同時にマハゼ *Acanthogobius flavimanus* (Temminck & Schlegel, 1845) も採集された。

供試標本を既知の日本産クロサギ科魚類14種と比較した結果、背鰭が10軟条であること、臀鰭が7軟条であること、両眼間にU字型の凹みがあることなどからダイミョウサギと同定された（波戸岡, 2013）。本種はこれまで三浦半島の河川域からの採集記録はなく（林, 1973; 林, 1976; 林ほか, 1984; 相模湾海洋生物研究会, 1995; 萩原・齋藤, 1999; 萩原ほか, 2008; 萩原ほか, 2018）、同水域から初めての記録となる。

## 引用文献

- Bleeker P. 1854. Fauna ichthyologicae japonicae species novae. *Natuurkundig Tijdschrift voor Nederlandsch Indië*. 6(2): 395-426.
- 萩原清司・齋藤和久 1999. 森戸川感潮域で採集された魚類. 神奈川自然誌資料, (20): 69-74.
- 萩原清司・齋藤和久・出島誠一・五十嵐大介 2008. 逗子市田越川水系の魚類. 横須賀市博研報（自然）, (55): 11-22.
- 萩原清司・齋藤和久・木村喜芳・横須賀市自然環境共生課 2018. 横須賀市から初記録の淡水魚4種. 横須賀市博研報（自然）, (65): 23-24.
- 波戸岡清峰 2013. クロサギ科 Gerreidae. 中坊徹次（編）日本産魚類検索 全種の同定 [第3版]: 579-591, 1897-1899. 東海大学出版会.
- 林 公義 1973. 三浦半島の淡水魚（三浦半島淡水魚調査報告）. 横須賀市博研報（自然）, (20): 18-40.
- 林 公義 1976. 三浦半島の淡水魚（三浦半島淡水魚調査報告・II）. 横須賀市博研報（自然）, (22): 29-32.
- 林 公義・石原龍雄・君塚芳輝・長峯嘉之 1984. 神奈川県淡水魚分布資料・II. 横須賀市博研報（自然）, (31): 20-23.
- 相模湾海洋生物研究会 1995. 横須賀市内河川水生生物基礎調査報告書1. 47 ページ, figs. 70, pls. 23. 横須賀市環境部.
- 下瀬 環 2018. クロサギ科. 中坊徹次（編）日本魚類館: 277. 小学館.